

2009年2月19日

各 位

オリックス株式会社

自動販売機の電子マネー化の対応を進める企業へ出資 ～自動販売機業界初 電子マネーの早期現金化を視野に金融機能を提供～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄、以下「オリックス」）は、このたび、日本自動販売協会（所在地：東京都港区、会長：森 吉平、以下「JAMA」）が加盟企業の有志でスタートさせた「JAMA 電子マネー化共同プロジェクト」を推進している株式会社エム・ピー・ソリューション（本社：東京都港区、社長：佐藤 榮治、以下「MP」）に対し、第三者割当増資により出資しましたのでお知らせします。

近年、FeliCa(*1)を利用した電子マネーが普及し、自動販売機の利用者の利便性を向上するためにも、FeliCa に対応した自動販売機の普及が期待されています。しかし、従来のリーダーライター（非接触 IC カード読取 / 書込装置）は高額であり、また個々の電子マネーにしか対応できない単体機能のものが主流であったため、単価が小額の自動販売機に搭載することは困難でした。

JAMA は、共同で複数の電子マネーに対応する「マルチサービスリーダーライター」の共同設計・共同購入、および共同運用を目指して、2007年4月から「JAMA 電子マネー化共同プロジェクト」を開始。JAMA 加盟企業のうち 12 社の飲料メーカーやオペレーター(*2)が参加しました。MP は、最大 8 種類の FeliCa に対応できるリーダーライターを中心とした自動販売機向け電子マネー決済サービス「JAMA マルチマネーサービス」を 2008年10月より提供しています。

オリックスは、飲料メーカーやオペレーターに対して、「JAMA マルチマネーサービス」を利用する際に必要な機器のリース・レンタルをサポートします。また、2000年から開始した電子商取引「ORIX-EC サービス」などの実績を生かし、自動販売機業界において初めてとなる電子化における売掛債権の早期現金化などの金融機能も提供していく予定です。

今後も、電子マネーを取り扱う企業に対する新たな金融サービスの創造を目指していきます。

以上

(*1)「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触型 IC カード技術で、ソニー株式会社の登録商標です

(*2)オペレーターとは、自動販売機の管理・運営を行う企業のこと

< 本件に関するお問い合わせ先 >
オリックス株式会社 社長室広報担当：宮木・横井
電話：03-5419-5102

Press Release



【ご参考】プロジェクト概要

